

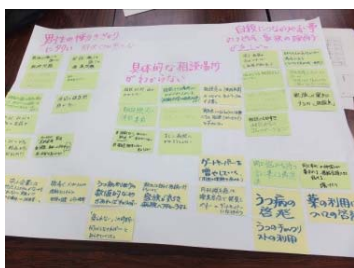
【甲賀市】第3回ワークショップ開催

11月11日及び21日に甲賀市において第4回対策委員会(第3回ワークショップ)が開催されました。



今回は、これまでのワークショップとは異なり、合同での開催ではなく対策委員会ごとに集まり、これまで2回のワークショップで出てきた様々な安全課題のなかから、「重点項目」の設定をめざしました。これまでそれぞれの対策委員会が2つのグループに分かれていたもので、初めて顔を合わせる方もおられ、最初はやや遠慮がちな雰囲気が見られましたが、それぞれに最も重要だと思う課題をいくつか選び、順番に説明する段階になると、次第に議論が進んできました。中には、問題となる「事実」ではなく、「〇〇〇をする必要がある」といったご自身の見解を課題として出す方もいましたが、「それが必要だとおもう背景、問題となる状況について聞かせていただけますか？」といったファシリテートのなかで2〜3つの課題に集約していきました。中には、結論を次回に持ち越す

対策委員会もありましたが、重点課題を設定するときにはじっくりと時間をかけることのほうが重要ですので、事務局としては、「急がない」覚悟が大切です。



【北本市】対策委員会開催

11月11-13日に、北本市において認証審査員資格をもった専門家によるプレ審査後初めての対策委員会が開催されました。

10月初旬にプレ審査を実施した際には、各対策委員会が、これまでのワークショップの結果やデータ分析の結果からどのように課題や対象を設定してきたかを論理的に説明されたので、先生方は、アドバイスする立場として、ご自分のご経験に照らし合わせたりしながらアドバイスがしやすかったそうです。報告するにあたってSC事務局、対策委員会事務局はもちろん、対策委員会メンバー全員で報告内容についても議論を繰り返した結果です。

今回の委員会は、審査員から「現地審査の際には、実

際にどのような活動が展開され、その成果がどうでいるのかを報告いただくのを楽しみにしています」という期待に応えるべく、さっそく取組の具体的な組み立てについて議論が進められました。事務局からは、次回の会議の予定は新年にはいつからだと知らされた際には、「それでは期間が空きすぎるから、その前に一度集まろう」と申し合わせる対策委員会がいくつもありました。

今回は、新しい庁舎で、これまでの「ロ」の字型の机の配置を変えて委員同士の距離も若干近くしたので、話しやすかったのでしょうか、どの対策委員会も活発な議論が展開されました。

【松原市】SC認証式典及びシンポジウム

11月16日、大阪市松原市においてセーフコミュニティ認証式典が行われました。当日は、まず、審査員のお二人(チョウ・ジュンピル氏、パイ・ル氏)ご講演をいただきました。チョウ先生は、SCの動向について、パイ先生はSCにおける自殺対策についてお話をくださいました。そのあとは、各対策委員会のご報告でした。これまでの取り組みを10分弱という短い時間のなかでまとめられるのは大変だったとご推察しますが、住民のみなさんにどんなことをやっているのかを知っていただくよい機会となりました。

お昼を挟んで、名越康文氏の自殺に関する講演がありました。精神科医としてのご経験をもとに、関西人らしい軽快な語り口調で「うつ」という状況は、内面的にはどんな状況にあるのか」というお話から宗教との関係までさまざまな事例を引用しながら幅広い事例をつかってわかりやすくお話しされ、「大阪マダム」の心をわしづかみにされていました。審査員のパイ先生も、白石の訳を通してではありましたが、時に「くすっ」と笑いながら、次々とメモをとっておられました。



午後4時から、認証式が行われました。合意書への署名とタテと旗の授与の後には、バイオリンの演奏が花を添えました。



手がありました。

その後、レセプションでは、これまでSCに取り組んでこられた方たちの「やっと認証式を迎えた」という、ほっとし、そして晴れやかな表情が印象的でした。

他の自治体からの市長・町長をはじめ代表の方たちも多くご出席されていて、それぞれのSCに関する経験をお話なさるなど、交流があちこちでみられました。

また、今回は、台湾台北市文山区からも9名がお祝いに駆けつけ、ともにお祝いするとともに、松原市とSC友好協定を結ばれました。



文山区の方たちがお祝いに駆けつけて下さいました

【厚木市立清水小学校】ISS再認証式典

11月18日、厚木市立清水小学校においてISS再認証式典が開催されました。



子どもたち全員が参加できる式典を！という藍原校長のご配慮で、1年生から6年生全員が何等かの形で参加している式となりました。

まず、校門を入ると1年生が、パイ審査員がこられた台湾の国旗と日本の旗を振って出迎えてくれました。この旗は2年生、3年生が作ったもので、低学年の協働によるおもてなしです。また、会場には上級生しか入ることができなかったのも、低学年は自分たちが描いた絵で会場を飾りました。式典では、いたるところで児童が大きな役割をなっていて、まさに藍原校長が目指していた子どもが中



心となった式典となりました。

また、地域の方のご厚意で、体育館で撮影された式典の映像を各教室で見られるように設備を整えてくださったので、低学年の児童も教室で式典の様子をみることができ、教室からの参加が可能となりました。

式典の後のスキットによる取組紹介も、子どもたちが主体的に考え・準備されたとのことで、ちょっと恥ずかしそうだけれど、嬉しそうな姿が微笑ましく映りました

【箕輪町】対策委員会・モデル地区との懇談

11月25日、26日に、箕輪町において各対策委員会が実施されました。箕輪町は、認証から1年半が経ち、取組みを評価するプロセスを迎えてい



ます。それぞれの対策委員会では、認証申請時に設定した評価の尺度を再検討するとともに、自分たちの取組についても、どう継続していくか、新たに直面している課題をどう取り入れるか、といった内容を議論しました。

また、2年に一度の安全安心に関する住民アンケート調査の結果も報告されました。認証を経て周知度は高くなっていましたが、関心がやや低くなっている状況に、各対策委員会では、より積極的に対策委員会の取組についてPRするとともに、SCそのものについても周知と啓発に力を入れていくことが大切だと意見がだされました。また、何がSC活動なのか、どうやったらSC活動に参加できるのかも合わせて情報発信していかないと、住民にとっては「他人事」になっていくことも考えられる、との住民の立場ならではの意見もだされました。

この認証後の関心の低下は、特異なことではなく、日本の他の自治体、そして世界の多くのコミュニティに共通する傾向でしょう。日頃から広報誌などを活用して啓発されているとは思いますが、認証後も引き続き、そしてより積極的に情報発信に工夫されることが大切のようです。

また、対策委員会の合間をぬって、モデル地区の北小河内のみなさん、そして新たにモデル地区として取組まれる地区の代表の方たちとお会いして、進捗状況と今後の進め方についてお話をしました。北小河内地区は、当初から積極的にSCを進めておられ、認証後もますますパワーアップです。来年2月には、秩父市さんにおいてその活動の様子をご報告される予定です。

【発行】一般社団法人 日本セーフコミュニティ推進機構
※問い合わせは下記ヘッダーの連絡先まで